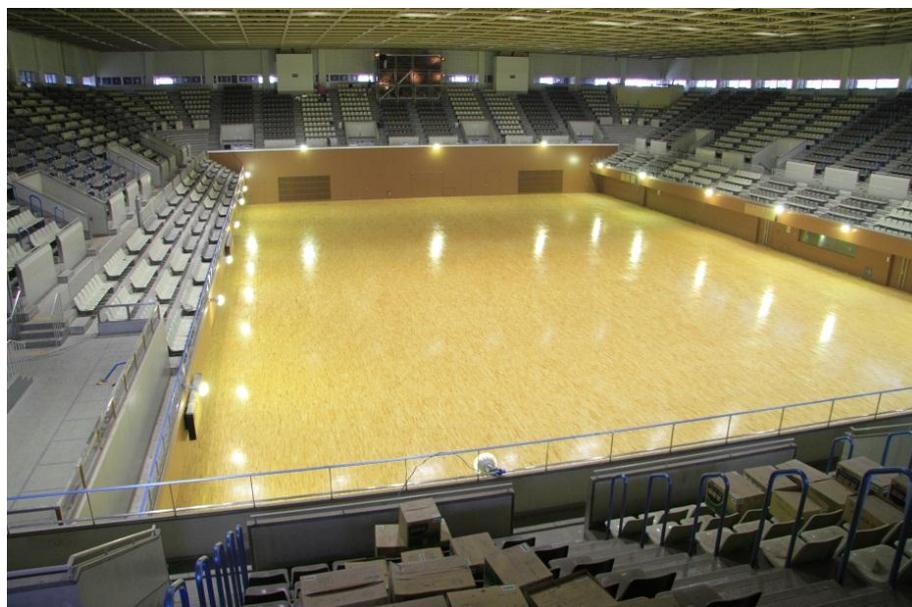


府立体育館のリニューアル工事 改修状況（平成 25 年 3 月）

府立体育館リニューアル工事 改修状況 第 5 弾、3 月の様子をお伝えします。

第 1 競技場の様子です。床面の第 1 段階の仕上げが終了し、美しく輝いています。この場で活躍される選手の皆さんが、最高のプレイをされている、そんな姿が目前に広がりました。私たち施設を管理させてもらっている者にとっては、気の引き締まる思いがしました。



次の写真は、3 月 13 日の様子です。コートラインを引くためのマスキングテープを貼る作業が終了し、塗料が塗られようとしています。ここには、バスケットボール、バレーボール 3 種（6 人制、9 人制、市民ルール）、バドミントン、テニス、ハンドボール等、合計 32 コート分のラインが引かれます。

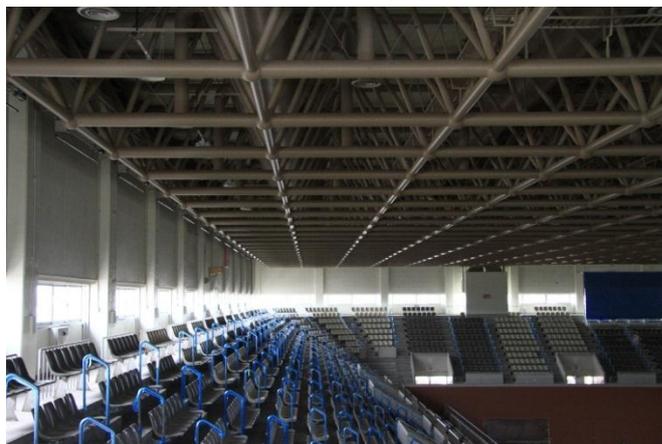


下の写真は、バレーボール等の支柱穴のフタです。吸盤で取り外しするようになります。



少し見にくいですが、左手の窓の上の壁と天井の間に12本のバトンが設置されました。国際大会が開催される際には、参加国の国旗がこの場所に掲揚されることとなります。

また、写真右手の中央には、大型映像装置がみえます。下の写真が取り付け作業中の様子です。



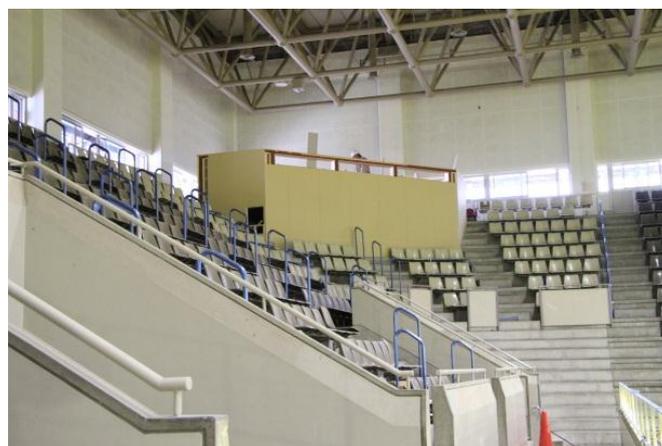
この大型映像装置は、縦3.9m、横6.8mの大きさがあります。取り付け作業中の作業員の方と比較してもその大きさがわかれると思います。

この映像装置は、DVDやコンピュータの映像を映し出すこともできるので、出場選手の名前、顔写真、記録、得点やファウル数等の表示に使うことができます。また、選手の動きのリプレイやスローモーション、コマ送りの他にも、観客の皆さんの様子、インタビュー・挨拶をされている方の表情等々、この大型映像装置に映し出すことができます。



大型映像装置のさらに右側には、ブースが出来ています。

府立体育館の放送室は競技場フロアの東側にあります。その為、フロア内に移動式観客席などが入ると放送室からは競技場内の様子が分からない状態となってしまいます。それを解決するための施設として、観客席の最上部に放送室の分室が設けられることになりました。



次の写真は、第1競技場の東側にある更衣室の様子です。

今回の更衣室内には、シャワールームはもちろん、トイレも設置されることになりました。まだ、蛇口や便器などは取り付けられていませんが、タイルが貼り付けられ清潔感あふれる明るい雰囲気は漂っていました。



ここは、第1競技場2階の女子トイレになります。便器も仕切りもまだ設置されていませんが、ピンクの綺麗なタイルが貼り付けられていました。トイレの中央あたりに壁が斜めになっていますが、ちょうどこの上が観客席になっており、その梁が通っているのです。以前は、そこまでがトイレでその奥の部分は倉庫となっていたのですが、今回、女子トイレの増設でスペースが広げられました。



次の写真は、観客席の最上部にある窓から見た2階の玄関入口前のスペースです。レンガは全て取り外されており、白く見えているのは防水シートです。この下の階には、パブリックビューイングスペースや新しい会議室・倉庫ができるので、雨漏りしないように施されていました。また、写真の右側の部分には、階段がありましたが、今回車椅子用のスロープが設置されることになりました。



第1競技場屋上の様子です。灯り取りとなっていたところは、全て閉ざされ、その上にソーラーパネルが設置されていました。地球にやさしい体育館へと進化しています。



この日は、3月22日で春を感じさせる天候でした。この写真で見える後ろの風景ですが、中央から左にかけて府立体育館の屋根より高い建物が京都府立医科大学の花園学舎で、その奥に見える山が愛宕山になります。右側の山の麓には、立命館大学の衣笠学舎が見えています。左大文字のお山もすぐそこに見えています。



以上で、今回の報告は終了します。